

協議会議事録		作成日	2020年2月25日(火)
		作成者	NISSHA エフアイエス 柳谷
開催内容	アルコール検知器協議会 業務委員会		
開催日時	2020年2月25日(火) 15:00~17:00 (@新大阪)		
出席者	議事進行; 杉本(東海電子) ※敬称略 東洋マーク: 山内 フィガロ技研: 四方・西村 ヤナコ: 岡、上西 光明理化: 畑 東海電子: 杉本・ブライアン・高木・森田・遊佐 テレニシ: 細川、東野 タニタ: 坂田・望月・佐川 中央自動車工業: 酒井・高橋・内丸 サンコーテクノ: 坂口 パイアール: 久世 NISSHA エフアイエス: 常深、柳谷 新コス: 境、西田		
報告内容	<p>1. 2019年度活動報告(報告:東海電子 杉本) ※別紙資料参照</p> <p>① 外部検定の開始、教育実績</p> <p>② WEBによる情報公開、展示会への参加</p> <p>2. 官公庁班からの報告(坂口、酒井)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 航空機関連の問題の影響を受けて、鉄道関連へも検定機器に関する情報提示を行った。 ・ 飲酒運転がゼロにならないため、国交省へのフォローアップを実施し、飲酒運転根絶に向けて情報提供などを協力。また、各都道府県で実施されているイベントなどにも積極的に参加し、啓蒙・啓発を進めた。直近で、「警察庁 交通企画課」を訪問した。その結果、内閣府へのコンタクトもできることになったため、予防に関して協議予定。 <p>3. 教育班(森田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本協議会にて作成した研修マニュアルを使用して、アルコールに関する教育を実施。本年度実施5回実施予定であったが、3回実施済。残り2回はコロナウィルスの拡大防止のため、中止となった。 ・ 北海道開催は、50~100人くらいの参加人数であり、非常に盛況に感じた。 <p>4. WEB班(細川・坂井)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月以降のHPへのアクセス分析を実施した。「検知器の正しい使い方」「豆知識」の閲覧率が高い。12月がアクセスのピークであった。 ・ 「アルコール検知器」「飲酒運転」に興味がある方が多いという印象であるため、来期はWEBの構成を大きく見直すべき。見直し項目の概要は、以下の通り。変更内容などは随時案内する。 <ul style="list-style-type: none"> (ア)「アルコール検知器」とはどういうものかという具体的な説明を追加したり、使用事例を掲載予定 (イ) 検定機器の申請用紙は、会員向けページに移動する。 (ウ)「よくある質問」「お問い合わせフォーム」を作成予定。 ・ 構成変更で発生する費用は、来年予算で確保する。 ・ WEBは、絶えず最新情報を提供するべきと考えながら活動する。 <p>5. 展示会班(西村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今期は、NASVA、物流展などに参加。各業界のイベントに対し、まんべんなく参加できた。 		

協議会議事録

6. 海外班（ブライアン）

- ・ EUの飲酒事故による死亡人数の情報が見つけられなかったが、交通事故に関しては、ルーマニアとブルガリアの死亡者が多い。
- ・ 台湾の飲酒規制。アルコールインターロックの法制化。
- ・ 各国の飲酒問題政策や海外メーカーの動向を今後配信したいと考えている。

7. 2020年度の活動計画

- ・ 認知度を上げるように、引き続きWEBなどのツールを利用して積極的に活動する。
- ・ 少し開催頻度を少なくする。予定。（4月総会、7・10・2月業務委員会開催予定）

8. その他の情報共有

- ・ 令和元年の飲酒事故の発生件数：25,434件発生（前年度約1000年減った）。トラックにより飲酒運転の事故件数は、ここ数年間横ばいであり、問題視されている。
- ・ 「Jバツ君」は商標登録されているが、チラシにはキャラクターのみの表示になっており、「Jバツ君」という名前の表記はない。チラシに何らかの文言を追記し、「Jバツ君」を記載する。
- ・ 12月から実施している「認定品」への認定マーク貼付の運用を開始する。検定機器に貼付するシールは、各社で手配する。本日（2月25日）から貼付可能とする。

以上